



「WTS China Report」は、中国における最近の環境・エネルギー関連の政策動向、トピックについて随時お伝えするものです。本稿では、広東省発展改革委員会、広東省工業情報化庁、広東省生態環境庁、広東省エネルギー局により 25 年 12 月 12 日に発表された「広東省ゼロカーボン工業団地建設案《广东省零碳园区建设方案》」についてご紹介します。

I. 広東省発展改革委員会等：広東省ゼロカーボン工業団地建設案

広東省発展改革委員会、広東省工業情報化庁、広東省生態環境庁、広東省エネルギー局は、2025 年 12 月 12 日、「広東省ゼロカーボン工業団地建設案」を発表しました。以下では同政策の内容の一部についてご紹介します。

一、目標

2027 年までに：

- ・ゼロカーボン工業団地を約 25 個を創出する。
- ・ゼロカーボン工業団地関連の政策・制度が段階的に確立され、ゼロカーボン実現経路の革新、仕組みの革新、モデル革新などにおいて初歩的な成果を取得する。

2030 年までに：

- ・いくつかのゼロカーボン工業団地の創出を完了する。
- ・ゼロカーボン工業団地の技術装備、ビジネスモデル、政策基準、サービス体系などが段階的に整い、2030 までにカーボンピークアウト実現に寄与し、経済・社会発展の全面的なグリーン化に強力なサポートを提供する。

二、重点任務

1. 利用されるエネルギーの構成のグリーン化を加速させる。

- ・工業団地及びその周辺における再エネの開発・利用を強化する。各地域の実情に応じ、グリーン電力の直接接続、新エネルギー由来電源の近隣の新設・拡張配電網への接続など、グリーン電力直接供給モデルを展開する。
- ・工業団地による多様な熱エネルギー資源の活用を促進し、熱供給システムのクリーン・低炭素化を実現する。

2. 工業団地の省エネ・炭素削減行動の本格展開を推進する。

- ・工業団地においてエネルギー使用・炭素排出管理制度の構築を推進する。
- ・工業団地内の企業を対象に、クリーン生産方式の徹底的な実施、省エネ・低炭素化改造、エネルギー使用設備の更新、グリーン工場の創出を促進する。

3. グリーン技術の実証・応用を強化する。

- ・ゼロカーボン原料・燃料への切り替え、二酸化炭素回収・有効利用・貯留（CCUS）などの重要技術における協同イノベーションと科学技術研究成果の実用化・応用を推進する。
- ・グリーン・低炭素技術の研究・開発と産業発展の深い融合を実現できる仕組みを模索する。先進的なグリーン・低炭素技術設備、省エネ製品の初号機導入・初度使用を支援する。

4. グリーン・低炭素産業の育成に力を入れる。

- ・「グリーンエネルギーによるグリーン製品の製造」モデルを発展させる。新興産業のグリーン・低炭素発展と従来型産業の本格的な脱炭素化経路を模索する。



- ・産業チェーンの延伸・補完・強化を図り、従来型産業による低炭素・ゼロカーボン工程・技術・設備の導入を支援する。
- ・先進的なグリーン・低炭素技術の工業団地における応用普及を推進する。

5. グリーン・低炭素な建設・運営を普及させる。

- ・工業団地のインフラ整備計画・設計を最適化し、インフラの建設・改造を体系的に推進する。
- ・工業団地内の新規建築を対象に、超低エネルギー消費建築、ニアゼロエネルギー建築の基準に基づいた設計・建設を促進する。既存建築に対しては、低炭素化改造の実施を促進し、グリーンで多様かつ柔軟な建築エネルギーシステムを発展させる。

6. グリーン交通・物流システムを構築する。

- ・工業団地におけるグリーン交通インフラを整備し、輸送手段の低炭素化・ゼロカーボン化を加速させる。
- ・電力や水素などの低炭素・ゼロカーボンエネルギーを動力源とする交通手段の導入・普及を推進し、EVと電力系統の双方向充電技術（V2G）の応用を推奨する。

7. 資源の集約と循環利用を強化する。

- ・工業団地における公共施設の共同建設・共同利用を推進する。団地内のプロジェクト間、企業間、産業間での水平連携・垂直統合・循環的連結を推進する。
- ・廃棄物の発生源からの減量及び資源の総合利用を強化し、「ゼロウェイスト工業団地」「ゼロウェイスト企業」の構築を推進する。

8. 工業団地のエネルギー・炭素管理能力を向上させる。

- ・工業団地における主要エネルギー消費企業を網羅するエネルギー・炭素管理プラットフォームの構築を支援する。
- ・工業団地内企業のデジタル化とスマート化改造を支援する。
- ・工業団地内企業による炭素モニタリング、炭素排出削減、炭素資産管理、カーボンクレジット、カーボン・インクルージョン（炭普惠）活動、炭素金融サービス、環境情報開示などの取り組みの実施を推進する。

9. 低炭素・ゼロカーボン建設に関する基準を整備する。

- ・工業団地に対し、実情に応じ、ゼロカーボン関連全プロセス・多段階にわたる管理及び技術基準の策定を模索することを推奨する。
- ・工業団地及び企業に対し、ゼロカーボン団地建設関連の基準体系の構築、国際的基準との整合を参加することを推奨する。これにより、広東省の製品と技術の国際的影響力と競争力を高める。

10. 管理の仕組みの改革・革新を推進する。

- ・多様な主体によるゼロカーボン工業団地建設への参加を支援し、電力供給・消費における再エネの割合の増加を実現できる経路・モデルを模索する。
- ・電力需要集約サービス、バーチャルパワープラント（VPP）、電源・配電網・蓄電の一体化、包括的エネルギーサービスなどのエンドユーザー向けの新たなモデル・業態の工業団地内での応用を模索する。

※本政策の原文については下記ウェブサイトをご参照ください。

https://drc.gd.gov.cn/ndjh/content/post_4828442.html



II. WTS コメント

1. 2025年7月、国家発展改革委員会・工業情報化部・国家能源局は「ゼロカーボン工業団地建設の展開に関する通知」を公表し、国家級のゼロカーボン工業団地建設を開始するとともに、各地域が実情に応じて省級ゼロカーボン工業団地建設を実施することを明確にした。本方案は、ゼロカーボン工業団地建設の加速を図る国家戦略に追随し、広東省の省級ゼロカーボン工業団地建設における目標、重点任務、建設プロセス等の詳細を明らかにしている。広東省政府は、条件を備えた工業団地からのゼロカーボン工業団地の創出を推進し、資金、融資、政策、広報などにおいて積極的な支援を与える。
2. ゼロカーボン工業団地の建設プロセスには、再エネ、蓄エネ、マイクログリッド、水素エネルギーの活用、需要側管理、建築・交通の低炭素化などの分野における科学技術イノベーション・ソリューションが必要不可欠となる。ゼロカーボン工業団地の建設は、これらの技術ソリューションに豊富な実証・応用シナリオを提供し、これらの分野に広大な発展の可能性とビジネスチャンスを生み出すものと期待される。
3. 近年、一部の国では重点製品のカーボンフットプリント評価認証制度が段階的に確立され、炭素排出規制対策を打ち出している。また、製品カーボンフットプリントを持続可能なサプライチェーン管理の要件に組み込んでいるグローバル大手企業も増え続けている。ゼロカーボン工業団地は、追跡可能なエネルギー供給システムと全プロセスカーボンフットプリント管理システムを備えているため、団地内企業は各工程におけるエネルギー・資源の消費と原材料の炭素排出レベルを体系的に把握し、標的を絞って生産プロセスおよび技術設備のグリーン化レベルを向上させ、製品のカーボンフットプリントを大幅に低減し、「グリーン競争力」を高めることが可能となる。



佛山早稲田科技有限公司

<事業内容>

脱炭素関連サービス

- 脱炭素現状評価及び計画、炭素排出削減技術カスタマイズ提案、脱炭素データ管理及び開示サポート
- 清潔エネルギー変更、エネルギー貯蓄の提案・実施サポート
- 脱炭素支援政策及び認証関連サポート、脱炭素能力構築及び研修

環境順法化対応サポート・特定課題解決

- 汚染排出現状評価及び診断、環境手続き実施サポート、環境政策コンサルティングサービス及び技術サポート
- 汚染対策技術カスタマイズ提案、環境施設工事全体計画及び施工監督・管理
- 汚染物検測・モニタリング及び汚染物異常値処理

環境順法化対応サポート・リスク回避 管理向上

- 環境順法化診断、環境人材育成
- 情報提供、環境定例会議実施、環境ニーズ対応

早稲田会員クラブ

- ビジネスマッチング、企業見学、専門セミナー、政策解説
- 日本技術の現地応用、日中協業プロジェクトのコーディネート

<問い合わせ先>

担当者：Ms. Judy（日本語可）

TEL：18688262655

Email：judy@wts-cn.com